



環境共生学部の公募制推薦入試 後期は文系科目（国・英）で受験可能 多様な学生に扉を開きます。

武庫川女子大学が2025年4月に開設する環境共生学部で、公募制推薦入試（後期）の出願が10月25日、始まりました。公募制推薦入試（前期）、一般選抜（前・後期）では、数学または理科科目が選択必須ですが、公募制推薦入試（後期）だけは、「国・英」での受験も可能で、多様な学生に扉を開きます。文系×理系のハイブリッドを目指すこの学部の本質が詰まった公募制推薦入試後期。女子総合大学の新たな挑戦にご注目ください。

環境共生学部は文部科学省の「大学・高専機能強化支援事業」に選定され、理系人材育成がミッションです。このため数学や理科科目の力が必要ですが、一方で「環境共生」という壮大なテーマに挑むには、理系の知とスキルだけでなく、文系の知と発想力が必須。化学や工学、エネルギーはもちろん、データ解析、都市政策、町おこし、防災、文化財保護など様々な知識と技術、それらを合わせた総合力が求められます。武庫川女子大学が目指す「環境共生」という領域は、既存の学部イメージに収まらない、未来志向の学部といえます。

4年間の学びは、社会と連携する実践的なプロジェクトを軸に進行します。学びの領域は大きく3つ。環境保全系、環境共生系、環境資源応用系から、興味や目的意識に応じて科目を選び、自分流のカリキュラムを構築できます。

入学直後から始まる「フィールド・環境施設実習」では、本学が所有する里山の施設や近くの甲子園浜で活動を行い、環境関連施設を訪問して課題を見出します。

こうした「現場ファースト」の姿勢は高校生にはなじみのある「探究活動」と親和性

があります。例えば森林の荒廃を止めるために行われた間伐後の廃材をどう活用するか。海の水質改善のため、水草や貝の浄化作用を調査する。また、川の上流の植物分布などから土砂崩れのリスクをより精密に解析して防災、減災に生かすこともできるでしょう。もちろん、バイオテクノロジー、応用化学、高分子科学など理系の技術力や研究力を身に付けて、生態系の保全やエネルギー問題、環境汚染防止に貢献する道も拓けます。

昨今は理系分野に進学する女性の割合を増やそうと、大学入試で「女子枠」を導入する理工系学部が増えています。「女子枠」を設ける背景には、理系を目指す女子の母数が不足しているという見方もありますが、「文系だけれど生物は好き」「数Ⅲは無理だけれど、数Ⅰは分かる」「文学も好きだけれど探究も好き」という女性は少なくなく、文系理系にも濃淡があります。

環境共生学部では、こうした文理のはざまにいる学生にこそ、新学部のけん引力となってもらおうと、公募制推薦入試後期に限り、国・英だけで受験可能としました。

武庫川女子大学ではかねてより、「生活環境学科」や「社会情報学科情報メディア専攻」「食物栄養学科」「食創造科学科」など、文理融合の学部学科で女性のポテンシャルを伸ばしています。これからも文理を超えた新たな学問領域で多様な人材を育成します。

公募制推薦入試（後期）

出願期間 10/25(金)～11/12(火)

試験日 11/23(土・祝)

必須科目なし

選択科目（2科目） 国（1）・英・【数（1）or 数（2）】・化・生・理基

【 】内からは一科目しか選択できません

国（1）現代の国語、言語文化（古文・漢文を除く）

数（1）数学Ⅰの全範囲、数学Aの全範囲

数（2）数学Ⅰ・Ⅱの全範囲、数学Aの全範囲、数学B（数列）、数学C（ベクトル）

【お問い合わせ先】

本件についての取材のお申込みは下記までお願いいたします。

環境共生学部教員に就任予定の教員へのインタビューも可能です。

■武庫川女子大学広報室

【電話】0798-45-3533

【メール】kohos@mukogawa-u.ac.jp

環境共生学部の概要

定員 : 120 人
収容定員 : 480 人
メインキャンパス : 浜甲子園キャンパス
竣工予定 : プロジェクト棟

【教員の主な専門領域】

環境イメージング学/環境ゲノム科学/環境防災学/気候変動科学/野生動物生態学/地域環境デザイン/環境バイオマス工学/グリーンケミストリー/ほか

【4年間の学びのイメージ】

1 年前期)

■フィールド・環境施設実習

近隣の里山、酒造会社など阪神間の特色ある企業、リサイクル施設等を訪ねて課題を見だし、プロジェクトを立ち上げる。環境に関する基礎的な知識を修得する。

1 年後期～3 年前期)

■実践型社会連携プロジェクト

少人数のプロジェクトに参加してそれぞれの課題解決に挑む。

■自由度の高いカリキュラム設計

2 年次)

◆ラボローテーション (16 ある研究室から 2～3 の研究室を体験)

3 年後期～4 年)

■自分が取り組みたいテーマを設定し、卒業研究に取り組む。その成果を発表する。

【取得できる資格】

中学校教諭一種 (理科)、高等学校教諭一種 (理科)、学芸員